

事業実施報告書

- | | |
|--------------------|---|
| 1 実践テーマ | I II ~~III~~ IV V |
| 2 実施対象者
(学年・人数) | 福岡県立三井高等学校 1 年生 1 2 4 名
2 年生 1 3 8 名
3 年生 1 5 1 名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動
① 教科名 ()
② 行事名 (創立記念行事)
③ その他 ()
(2) 地域における活動
① イベント名 ()
② その他 () |
| 4 目 標
(ねらい) | オリンピックを招聘し、東京オリンピックへの興味・関心を持たせるとともに、講師のオリンピックの出場経験に触れることで日々の学校生活、さらにはこれからの生き方について考えさせる。また、講演をとおしてスポーツのすばらしさ、楽しさを感じ、生涯にわたって積極的にスポーツと関わろうとする態度を育成する。 |
| 5 取組内容 | ○ 10月中旬 事前授業
授業において、馳浩講演者のオリンピックレスリング競技や経歴等を紹介した。 |

○ 11月2日（月）

創立記念講演会（体育館）

講 師 馳 浩 氏

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問

2015年第20代文部科学大臣

1984年ロサンゼルスオリンピックレスリング代表選手



演 題 「東京オリンピック・パラリンピック大会 非常ベル！！」



講演者と生徒との質問コーナー



講演者から職員へ「パラリンピックが開催されたのはどの大会からか？」など、掛け合いを楽しむ講演形式で行われた。



講演者に生徒代表謝辞



講演者に花束贈呈

○ 11月2日（月）

放課後 レスリング部員との交流（レスリング道場）

講 師 馳 浩 氏



レスリング道場で、部員との交流会



交流会で、三井高校の卒業生は全日本選手権やオリンピック等で多くの強豪選手を輩出しており、後輩の選手の皆さんも『三井高校魂』でがんばってほしいと激励を頂いた。

6 主な成果	① 講演を視聴し、多くの生徒が、オリンピックに対する興味・関心をさらに高めることができた。 ② オリンピック パラリンピックをはじめスポーツの楽しさや魅力を味わうことが出来た。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	① 講演にあたり、コロナ対策として全校生徒の指定座席を確保し、密にならない会場設営を行った。また、講演者と職員生徒とのソーシャルディスタンスを考えながら講演が実施された。
8 主な課題等	① 来年の東京オリンピック・パラリンピックを楽しく観戦したりできるよう、今後も教育活動の中でスポーツに触れたり行ったりする機会を設けていきたい。今回の交流会をきっかけとして、様々なスポーツに興味を持ったり、来年の東京オリンピック・パラリンピックを楽しく観戦したりできるよう、今後も教育活動の中でスポーツに触れたり行ったりする機会を設けていきたい。
9 来年度以降の実施予定	① 木場克己（1965年生まれ 鹿児島出身）を招聘する予定 体幹トレーニング第一人者としてKOBA☆トレを確立。サッカー、水泳、陸上他あらゆる競技の名だたるトップアスリートのトレーナー他、back number等の有名アーティストのサポートも務める。また多くのテレビ出演、雑誌メディアでも活躍。体幹トレーニング関連書籍は、子供向け、アスリート向け、女性の美BODY作り、健康年齢について他、あらゆる年齢層に向けた分野で監修。その数は50冊以上、累計発行部数は230万部を突破。企業での健康講演会、教育現場での体育指導など幅広い分野で健康を広める活動を行っている。柔道整復師・鍼灸師・健康運動指導士・日本体育協会アスレティックトレーナー

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 福岡県立三井高等学校 】

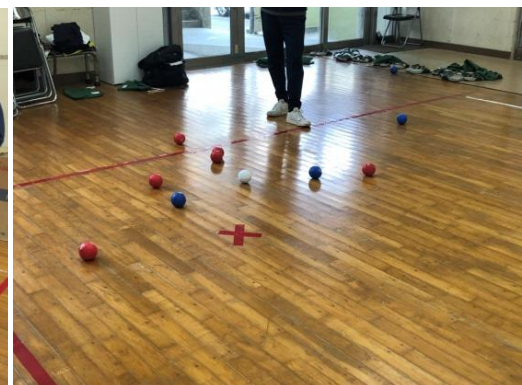
1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	福岡県立三井高等学校 1年2組 福祉教養コース 25名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 特別活動「ホームルーム」 ） ② 行事名（ オリンピック・パラリンピック教育 障がい者スポーツ「ボッチャ」体験競技会 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○オリンピック・パラリンピックへの競技にも興味・関心を高め、スポーツがもつ価値について理解を深める。 ○障がい者スポーツを体験することにより障がいに関する理解を深めるとともに、パラリンピックや障がい者スポーツへの関心を高める。また、仲間と協力して競技会を実施することにより共生社会の実現に積極的にかかわろうとする態度を育成する。
5 取組内容	○12月上旬 事前授業 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の内容について趣旨説明を行った。その後、ボッチャの競技大会の動画を通して、競技内容や興味・関心を高めた。 ○12月中旬 ボッチャルール事前学習 生徒達は、ボッチャ競技を初めて体験した。ルールについて説明を行い、得点の数え方、投げ方など実際に体験しながら、生徒達は競技内容を知ることができた。ジャックボールに近づく度に歓声があがり、一投一投盛り上がる姿が見られた。普段運動が苦手な生徒も生き生きとした表情で楽しく競技に取り組んだ。



～ 映像で、ボッチャ競技について説明を行った ～



～ ボッチャのルール説明中 ～



～ 初めてのボッチャ体験&投げ方の練習やゲームを行った ～

○12月15日

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント教育」
ボッチャ体験競技会の開会式

- 1 開会式（再度、趣旨説明等）
- 2 ボッチャ競技紹介及びルール説明
- 3 チーム確認

～ 休憩 ～

- 4 競技会（8チームの総当り戦を実施）
※各チーム1名は車いすを使用して競技に参加した。
- 5 閉会式(表彰式・好評等)
- 6 感想文



～ 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント教育」～
ボッチャ体験競技会の開会式



～ 各チームに車いすを準備して ～

～ 競技開始 ～



～ 初球のボール 上手く投げれるかな ～

～ 車いすからの投球 ～



～ 目標の的を狙って GO ～

～ どちらのボールが近いかな？ ～



～ 得点確認！！ ～



～ 楽しかったボッチャ参加者の集合写真～
～ 無言で集合 はい～ チーズ～

6 主な成果

- ① 生徒たちはボッチャ競技をととして、障がいの有無に関わらず、誰でも楽しく競技することができることを理解した。
- ② パラリンピック競技であるボッチャを体験することで、様々な障がい、年齢、性別の垣根を越えて楽しむことが出来る競技であることを改めて実感することが出来た。
- ③ 競技体験を通して、コミュニケーションをとり、仲間と協力することでチーム力を高めることが出来ると気づくことができた。

<生徒の感想より>

- ・ 私は今日のボッチャを経験して、2つの事を学びました。1つ目は、とても頭を使うゲームと言うことです。ボッチャは、ジャークのボールから、いかに相手ボールを引き離せるかが重要なので、それを意識して、どうやって体を動かせばいいか考えるのが大変でした。2つ目は、チームワークが大切だと言うことです。仲間と協力することで、初めて勝ちに直結することが分かりました。
- ・ 初めてボッチャを体験して、とても楽しかったです。ルールを知って、とても面白いゲームだと思いました。初めは、あまりルールがわからずあやふやな状況でしたが、後半は、ルールを理解してとても楽しく競技ができました。チームのみんなとも協力して競技ができました。
- ・ チームみんなと協力しあって、試合を楽しめました。ボッチャは、誰でも楽しめるスポーツだと思いました。今回、ボッチャを体験できて、とてもいい体験ができたと思いました。
- ・ 今回ボッチャを体験して、私は車椅子に乗車して試合に望みました。座った状態からのボール投げは、なかなか上手く行かずミスばかりでした。でも、障がいを持っている人達がボッチャのスポーツをととして、楽しむことができる素晴らしい競技だと思いました。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	① 各班に一台車いすを準備して競技を行った。車いすを使用して競技に参加させることで、車いす利用者の活動を体験させることが出来た。  ～ 車いす準備 ～  ～ 車いす利用者の競技を体験 ～ ② 来年度、近隣の特別支援学校との交流会を行うことを踏まえ、今年度の競技会を実施することが出来た。
8主な課題等	① コロナ対策で、校内実施日での日程調整が難しかった。 ② 昨年同様に、特別支援学校との交流競技大会を計画していたが、コロナ感染対策の関係で、継続して交流を実施出来なかったのが残念であった。
9来年度以降の実施予定	① ボッチャ競技について、今年度コロナ感染対策の関係で、近隣の特別支援学校との交流競技会が開催できなかったため、交流を再開し実施を計画・検討して行きたい。